

## 平成 29 年度 事業報告書

### 事業方針

NPOを、地域・社会を支える3本目の柱としてしっかり立たせるために、NPOが力をつけるための支援と、行政・企業への働きかけを積極的に行う。

これまで市民活動、ボランティア団体などを含むNPOの全範囲の支援を行ってきたが、今年度は特に法人支援に注力する。

### 総括

今年度、ムトス飯田推進委員会コーディネート専門委員会が立ち上がったことで、市民活動団体への支援ができるようになり、同時に市民協働会議室を利用したNPO向けの講座などを開催することで、中間支援の仕事を続けてきた。

認知度を上げることについては、下伊那、飯田市内にある全NPOへのチラシ配布なども実施したが、それほど利用者は増えなかった。理由としては、やはりそれぞれの団体が自身の活動に忙しすぎることで、目先の悩みに捕らわれがちであること、第三者に話を聞いてもらうことで、自分たちの振り返りができることが有意義であると感じられないのではないかと考えている。

市民活動団体やNPO法人のニーズについては、今年度、コーディネート専門委員会でムトス関連団体とNPO法人にアンケートを実施し、困りごとなどの情報があるが、比較的ボランティアベースの悩みが多く、そちらは専門委員会の他のメンバーが当たっている。

当法人がめざすNPO・市民活動団体が、社会の三本目の役割を果たすことができる状況になるには、さらに時間が掛かることが予想されるが、次年度以降展開する事業の中で、その有効な筋道について検討し、今後も中間支援組織としての役割を果たしていきたい。

### 事業報告

#### 【市民活動支援】

ムトス飯田推進委員会内に『コーディネート専門委員会』が立ち上がり、市民活動などの情報を発信しているマスコミ関係者や県のシニア活動推進担当者などが所属する中、当法人では毎月定例で『市民活動・NPO無料相談日』の開設を提案した。

「この日に市役所へ行けば相談ができる」ということが定例になるように、広報などで取り上げてもらっているが、まだ定着していないため、それほど相談者が多くない。ムトス飯田交流会などでも利用を呼び掛けている。

法人設立の相談に来られた団体は、引き続きの支援をしていく予定である。

#### 【特定非営利活動法人設立・運営支援】

今年度改めて、『会計・税務の基礎知識』講座、『NPO法人設立セミナー』『会計・税務無料相談会』を開催した。いずれも小規模ではあるが、会場を市役所の市民協働会議室で開催しているため、会場費なども無料で開催できる。今後も定期的に開催していきたいと考えている。

長野県の『NPO法人設立講座』も県内3会場を担当することができ、そこから他の講座への参加にもつながった。

#### 【ネットワークの形成】【人材育成】

ソーシャルインパクトボンドを推進している、ネクサスラボの宮國さんと今後、『南信州基金』の立ち上げに向けて動いていこうと準備している。この基金の柱は人材育成のため、人材育成については、基金事業としてつくっていく。

#### 【まちの活性化につながる事業】

飯田市はふるさと納税で、市内20地区への寄付の受け皿となる『飯田市20地区応援隊』を昨年よりスタートさせているが、有効に使われていない。そこで、寄付募集事業の作り方やアプローチの方法などを公民館や地域自治組織の方に学んでもらう会を開催するよう働きかけた。地区まちづくり委員会及び市内公民館へ声掛けし、実施できればと考えている。